

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	未破裂脳動静脈奇形の手術適応と予後に関する全国実態調査		
2. 対象患者	平成26年1月1日から平成30年12月31日に、当院で未破裂脳動静脈奇形に対する手術を受けた方		
3. 対象となる期間	2014年 1月 1日 ~ 2018年 12月 31日		
4. 実施診療科等	脳神経外科		
5. 研究責任者	氏名	嶋村 則人	所属 脳神経外科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	奈良県立医科大学医学部脳神経外科 教授 中瀬裕之		
7. 研究の意義	脳動静脈奇形は若年者の頭蓋内出血の原因として最多の疾患です。年間破裂率は1.7～2.2%ですが、発症すると生命や脳の機能に深刻な影響を及ぼします。予防的治療の効果が明らかにされていませんが、近年の医学の進歩によって手術の安全性が各段に向上してきています。現在の本邦における、未破裂脳動静脈奇形の治療適応と治療予後の実態について調査を行うことは、治療適応や外科治療の課題を明らかにするという意味で重要であると思われます。		
8. 研究の目的	現在の日本国内における未破裂脳動静脈奇形の治療成績について調査を行い、これから同様の疾患の治療を受ける患者さん方にとって有用な情報を得る事を目的とします。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	診療録を利用し、未破裂脳動静脈奇形に対して手術加療を行った患者様の年齢、性別、症状、放射線学的所見、治療法、合併症や転帰を調査します。この研究で使用する情報は、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)データです。収集したデータは代表機関である奈良県立医科大学へ提供され解析されます。なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。		
10. 個人情報の保護	収集したデータは、匿名化した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形でいきます。		
11. 利益相反に関する状況	本研究に伴い、利益相反が生じる事はございません		
12. 連絡先	脳神経外科学講座 講師 嶋村則人		
	電話	0172-39-5115	FAX 0172-39-5116